

建築家 通信

2020.9.30
vol.122

公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会
JIA長野県クラブ

<http://www.jia-nagano.com>
E-mail info@jia-nagano.com

JIA長野県クラブ・代表に就任して

JIA長野県クラブ代表 新井 優



夏のセミナーにて



リモート会議

右往左往の2020年の幕開け

2019年末に次期代表にご指名頂き、右往左往の中で、何とか今季の実際の活動を進めてくることが出来ました。会員の皆様のご協力に対して大変感謝します。『共に学ぶ』をテーマに交流を深め、JIA長野県クラブを更に元気に行きたいと思えます。

コロナに見舞われた春

3月建築祭後には新型コロナウイルス感染症拡大に対応するためWeb会議システムの構築を進め、会の運営に関する会議はWeb方式とし、実際の活動は顔を合わせてを基準としました。

その後、国から非常事態宣言等も発令され人の移動もままならない期間が続きましたが、当会の活動は例年通りに進める事が出来ました。

選択と集中の活動

月イチ(第二火曜日)を『JIAの日』に定め、活動を集中させる事でコンパクトな運営と参加率の向上を狙った。またWeb会議方式はコロナ禍もありますが、長野県は広く今まで移動時間や経費を自己負担としての活動方法からは大きく変わってきました。活動方法の大転換については会員の皆様のご意見を聞きながら更に改善を進めていきます。

アフターコロナの牽引役に

コロナ後の世界は大きく変わると言われている。地方に於いて実感は薄い働き方や生き方、住まい方は今までの東京一極集中では無く、やっと本格的な地方の時代が訪れると思っている。JIA長野県クラブは力強くポストコロナ時代のSTAY HOMEの質を高める役割を担っていく必要があると思っています。

長野県のプロポーザル機運の再来

2003年、当時のJIA長野県クラブ代表の松下重雄氏は長野県住宅審議会会長として、JIAも推進していた「入札によらない設計者選定」方式を田中康夫長野県知事に答申。同年5月より長野県は入札によらない設計者選定方式としてプロポーザルを基本とすることを決定しました。その後は、ダンペン

グ問題や知事が替わる経緯の中で、長野県の発注形態は入札方式が主体となりしばらくプロポーザル方式は封印されてきました。

また、当時の松下さんはせっかくのプロポーザル方式なのに、JIA建築家の応募が少ないと憂いていたことを強く記憶しています。

ところが昨年来、長野県はプロポーザル方式に大きく舵を切りはじめた事をご存知の通りです。これは歴代代表が力を入れてきた地域材への取り組みや、「信州の木建築賞」でのJIA会員の受賞。審査員として汗をかいてきた実績。委員会での行政との交流。更に社会が街の木造化を後押ししていること。様々な要因が重なって長野県のプロポーザル機運が再来しています。この流れを再度ボツにしないようにJIA会員の参加を強く願うことと共に、市町村まで確かなプロポーザル方式が広がる事が期待されます。

Withコロナ社会におけるJIA活動のあり方について

支部方針としていくつかの重点項目が示されました。

- 1, これからのJIA活動や建築家の「職能」を考える。
- 2, これからのJIA活動の「交流」を考える。
- 3, これからのJIAの「財政」を考える。

これらを長野県クラブに当てはめると、公共事業発注者支援業務としてどの様な協力関係を行政と築けるか、建築家の職能についてのクラブ内討議を経ての一定の方向性の確認、それらと登録建築家制度の今後の方向性の地方から支部への提案等々、まだまだやらなくてはならない事がたくさんあるが、焦らず任期の中で論議を深めていきたいと思っています。

今後ともご協力を頂き、会員全員参加の中で「学び」が楽しい会となるように頑張りましょう。





藤本蚕業歴史館にて佐藤さまのレクチャー

梅雨明けの炎天下となった7月31日、JIA長野県クラブ夏のセミナーとして、まちづくり委員会と総務委員会の合同企画で「上田市上塩尻のまち歩き」を行いました。JIA長野県クラブ会員と一般参加者22名、地元上田市在住のまちづくり委員会担当副代表の清水さんのコーディネートにより、講師として長野大学の前川先生・藤本蚕業歴史館の佐藤様の御参加を頂き、学生や上塩尻在住の方々も交えて30余名の参加がありました。強い日差しの下、全員がマスク姿でまち歩きというコロナ禍ならではの光景でしたが、かつて蚕種業で栄えた坂の集落を2時間程じっくりと見て回ることが出来ました。

まち歩きに先立って、藤本蚕業歴史館で「蚕種業」に関するレクチャーを受けました。日本の鎖国が解かれるのと時を同じくして、ヨーロッパでは微粒子病の蔓延により蚕が全滅し、日本から大量の絹糸と蚕種(蚕の卵)が輸出されます。その蚕種の全国一の生産地が上塩尻でした。千曲川の兩岸に山が迫り、常に西風が吹きこむ地形が桑の葉の栽培に適しており、坂の集落に立派な石垣が築かれ、通風の為の越屋根の民家が集落を形成しています。

地下水を活用した蚕種の低温貯蔵庫や、薪を焚いたオンドル方式の暖房などの自然エネルギーの活用は、これからの建築にも参考になる自然と共生した建築のあり方でした。

まち歩きの後には、参加者が塩尻地区公民館で意見交換を行い、生活や産業に根差した集落の姿を、守り活かす事の大切さを共有しました。

まだまだ新型コロナウイルスの対策として、交流プログラムは限定される中で、この様なまち歩きプログラムを実施出来て、あらためて顔を合わせて場所や空間を共有する事の大切さを感じました。コロナ禍下にもかかわらず御協力頂いた、長野大学の前川先生、藤本蚕業歴史館の佐藤様、上塩尻集落の方々に感謝いたします。

また、今回のセミナー当日の詳細な様子は、参加した会員の下崎さんが、沢山の写真と共に寄稿してくださり、JIA長野県クラブHPの事務局ブログでご紹介しています。興味のある方は是非ご覧になってください。



蚕種製造民家群 清水卓爾氏邸にて



意見交換会

新入会員紹介



法人協力会員

当社は、昭和44年創業以来半世紀にわたり長野県内をはじめ関東を含む甲信越エリアにビル用アルミサッシの製造販売を続けてまいりました。お客様のより高度なご要望にも100%お応えできるよう、サッシの設計・製造・販売・施工に至る一貫体制を備えている、長野県において唯一の会社でございます。

末広商事株式会社 長野支店支店長 松澤 勇二

各部門にはアルミサッシにかかわるプロフェッショナルがおり、長年にわたり培った技術ときめ細かい対応で、信頼と実績を積み重ねてまいりました。

このたび皆様のお仲間に加えていただくにあたり、当社も微力ながらお力添えさせていただき所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

開催したイベント

- 4月17日(金)… 通常総会(書面表決)
- 7月14日(火)… 「15集」出版レビュー「16集」キックオフミーティング
- 7月31日(金)… 夏のセミナー
- 8月11日(火)… 仕事を語る会
- 9月2日(水)… ものづくりの楽しさを伝える雑学講座(上田情報ビジネス専門学校)
- 9月30日(水)… 信州の地域材委員会 林業大学校プロボから学ぶ

今後の行事予定

- 10月13日(火)… 県立武道館見学
- 11月10日(火)… 信州の地域材委員会 地域材講座
- 12月4日(金)～5日(土)… 冬のセミナー
- 2月20日(土)～21日(日)… 建築祭

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集後記

今期より、会報「建築家通信」の編集を担当させていただくことになりました。また新しい試みとして、今期からは会員への会報はPDF配信となります。年度が変わってからは、コロナ禍で活動もままならない状況ですが、「夏のセミナー：上塩尻まちなみウォッチング」では多くの方が参加され、レポートもいただくことが出来ました。これからも皆様にご協力をいただきながら、当会の魅力が伝わる会報を発信したいと思います。……鈴木 敏之



編集人/鈴木 敏之 発行人/新井 優
発行所/JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内
TEL: 026-232-3897 FAX: 026-232-5303
<http://www.jia-nagano.com>
E-mail info@jia-nagano.com